

日本の竹ファンクラブ通信



竹の産業利用で放置竹林問題を解決！

地域連携で未利用の竹資源を活用

全国的な放置竹林の解消が進まない中、最近未利用の竹資源を活用して、地域経済の活性化や、持続可能な社会の実現を目指す取り組みが動き始めました。竹の復権に向けた夜明けの始まりかも知れません。

◆竹の有効活用広がる

竹がバイオマス素材として有望視されています。自動車業界では脱炭素の切り札として注目されており、自動車部品やプラスチック代替素材として活用が進んでいます。建設業界では竹チップを建設資材、農業資材として活用を開始します。

◆竹が自動車部品に

(株)東海理化が竹の間伐材を活用して、竹繊維を最大55%配合した複合材料「BANBOO+」を開発、高知県内に新たに工場を取得、昨年11月より本格生産を開始。今年1月発売のレクサスの新型「IS」

に初採用されたことを発表しました。今後は自動車に限らず、家具、建材など幅広い分野への応用も進める。

高知県、地元自治体、NPOと連携し、放置竹林から伐採された竹を原材料として活用。使用量は未定だが事業拡大に伴い増加していく計画。

◆竹チップを建設資材に

(株)長谷工コーポレーションは放置竹林整備で発生した竹の有効活用と建設副産物の再資源化を目的に千葉県成田市に「竹チップ製造工場」を新設。今年10月から本格稼働を予定している。千葉工場では森林組合、周辺自治体、

NPO法人などから調達した竹材をチップ化し、建設資材（杭汚泥固化、地盤改良材、植栽材）や農業資材（肥料、飼料）として活用。首都圏で数百〜千トンの利用を見込み、今後は関西圏、東海圏への拡大も目指すとしている。

◆サプライチェーンの構築

過去にもこういう事例があったが継続的な材料調達が叶わず失敗に終わった事例があります。今回は供給網（自治体×森林組合×企業）も整えてのスタートです。成功を祈ることもに全国に普及することが期待されます。

理事長 平石 眞司

小机城址支部

竹灯籠まつりも終わり竹灯籠の制作業に入り、メイン会場（F地区）を除き、土嚢袋に詰めA地区に移動の上集積仮置きし、横浜市の環境活動支援センターのチップ化支援を得て、1月21日、22日の2日間で割った灯籠、玉切りの竹、枝をチップ化しA地区の林床に散布し完了しました。残ったメイン会場（F・G・H）分は、竹しごらの中に集積する予定でしたが、1月中旬にチップパー機を再配備して頂き、1月24日、1月31日、2月7日の2日半でチップ化を完了し、A地区と同様にF地区の平場に散布し見た目がよくなりました。また二の丸の筍畑側の柵内に集積していた、竹の残材も2月7日の午後の作業でチップパー作業を完了しました。これまでの間、チップパーとは別に全地域の枯れ竹・倒竹の伐採、

本丸東側の空堀の伐採を実施して竹林全体的美観を向上させました。今後は筍畑に集積している、残材を一部チップパー化の予定です。2月11日は管理コースの皆さんに2月7日作業して頂いた四ツ目垣改修の続きを、5スパン完成させました。今回の期間では、雪の降る中でチップパー作業や、2か月ぶりの雨の中合羽を着て四ツ目垣を改修する等、変化にとんだ活動でした。参加いただいた皆さんには感謝の一言です。担当：荻原三男

横浜国際プール支部

昨年末はマダケの間伐とチップ化処理。1月は四ツ目垣改修とチップパーみちの改良を進めました。クラブがチップパーシュレッダーを導入したのが2006年5月。5年後にその機動性がより高まるよう中央モウソウチクからマダケ間の緩衝部まで40m、さらにマダケエリアから園路東端に至る50mの竹林内バイパスルートをも1.2m幅で造りました。竹林斜面を鍬とスコップを持ち、単管杭を打ち土留め材は竹稈、次々出てくる地下茎と雑木の伐根に苦勞して完成した“チップパーみち”でした。土留め竹稈が約12年を経てお疲れに！



腐食した竹をすべて入れ替えて改良を終えました。担当：根岸秀行

こどもの国支部

年に一度の日曜日開催、竹林に入るのが初めての女性も参加しマ



ダケ林の間伐。この日、賑わう園内にニッポン放送「三宅裕司のサンデーヒットパラダイス」の取材チームが偶然、集合場所に向かう我らと遭遇。「KANAGAWA街はんだー田上が走る！」の田上ひろしさんにYさんが声を掛けられ、生放送生中継がスタート。「元祖子どもの皆さんはどうしてここに？」と、突然のインタビューにもかかわらず丁寧な受け答えで6分30秒間、竹ファンの活動を紹介。広い林内で作業中の仲間たちは、昼休みや帰宅してから「さよう」で聴き「竹ファンのPR、良かったですね」。竹伐り初の女性、最後に笑顔で「とても



楽しかったです。仕事が休みの時、また来ます」。担当：丹治 薫

中井町支部

5年もの間中井の竹林で眠っていたチップパー機が蘇り、小机城址市民の森の竹林で活躍する事になりました。この冬の時は小田原中井広域農道沿いの竹が道路に倒れ込まないようにする事と景観を重視した作業が主でしたがこれからは竹林内の整備も行っていくたいと思います。6月には恒例のたけのこ狩りを予定しています。皆さんのご参加をお待ちしております。担当：榮 千彰

竹の学校 竹林管理コース



2月7日、第9回講座は「四ツ目垣改修」。既存竹垣を観察し、二の丸で男結びを練習。親柱加工後に2段胴縁と立子の取付けで3スパンを完成。終わり近くには雪がちらつく寒い日でした。

報告：事務局



竹工房
「竹 de カップ & スプーン」ワークショップ
小机城址市民の森にて「竹 de カップ & スプーンワークショップ」に参加しました。まずはスプーン作りの竹割から先生の手法を見ていると簡単そうなのに、いざやってみるとスプーンの曲面削りに大苦戦。2時間以上費やしてなんとか完成。カップは竹を筒状に切り、外皮をナタで削ったあと、小刀で形と厚みを整えて完成。参加者の方々のおしゃべりを聞きながら、無心に手を動か



し、あっという間の4時間でした。日用品は既製品を買うのが当たり前と思っていました。が、自作する喜び、竹の掘り前の満足感、竹の扱い方を学び、有意義なひと時でした。ぜひ次回も開催して頂きたいです。
報告：松原さとこ

TAKEFAN NEWS

第19回 横浜国際プール 林浴の庭 「竹灯籠まつり」に参加しましょう！

- 5月16日(土) (雨天の場合翌17日に順延)
本年も横浜国際プールで「竹灯籠まつり」を開催します。準備も含め作業日数が非常に多くなっています。出来るだけ多くの方が参加して下さいようお願い致します。
- 準備期間・前日・当日のスタッフ募集中です。
お手伝いいただける方は、Eメール又は同封の申込書に必要事項を記入の上、事務局までお申込み下さい。

竹の学校 筍料理教室
4月15日(水)
楽ウマ！
たけのこ料理

「春爛漫! 筍丸っと使った何度でも食べたくなるやみつきメニュー」を作りませんか。
詳細はチラシをご覧ください

定時総会開催のお知らせ。

定時総会を下記の通り開催します。
別途案内状を差し上げますのでご出席下さい。

- 日時 2026年6月14日(日) 13:00~14:00
場所 城郷小机地区センター
内容 総会 主な議題
- ① 2025年度事業報告並びに収支決算・監査報告
 - ② 2026年度事業計画並びに収支予算書

活動報告

1月21日・22日 小机城址市民の森、横浜市環境活動支援センター実施の間伐竹チップ処理。作業の補助支援。
1月21日・2月4日 2027 国際園芸博「仮設ハウス4棟の竹外装材(モウソウチク)検討会」、株式会社ADKマーケティング・ソリューションズ本社にて。
1月25日 竹工房「竹 de カップ & スプーンワークショップ」開催、小机城址市民の森に於いて。
2月7日 神奈川県水源環境保全県民会議フォーラム、そごう横浜店新都市ホール参加。
2月18日 都筑区山田小学校「ドライバードリルの使い方とかざり灯籠づくり」総合学習出前講座。

【新入会員紹介(敬称略)】 下線は竹取協力隊入隊者
鳥居典子(横浜市港北区)

令和8年度 会費納入のお願い！

4月は会費更新の月です。
皆さんの会費や寄付が日本の竹ファンクラブの活動を支えています。継続してクラブの活動をご支援下さい。
会員種別を明記の上お申し込みください。

◆入会金 1,000円
(新規入会の正会員希望の方のみ、継続会員は不要)

◆会費種別
正会員 個人2,000円
(入会して、総会の議決権を持つ個人)
準会員 正会員の家族1,000円、学生1,000円
(入会し、総会の議決権を持たない個人)

賛助会員 個人3,000円、法人以外の団体5,000円
法人30,000円(各一口以上)
(活動を支援するために入会した個人、法人及び法人以外の団体で、総会の議決権を持たない)

◆<振込先>郵便振替 00270-0-69084
特定非営利活動法人 日本の竹ファンクラブ

予定表

※**学校管**：竹の学校「竹林管理コース」 ※**協力隊**：竹取協力隊の定例活動 ※**援農隊**：竹取援農隊の定例活動

※**イベント**：詳細はチラシ又はホームページでご覧下さい。

4月4日(土) 協力隊	小机城址市民の森 竹林整備と密度管理 10:00~15:00
4月9日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00~15:00
4月11日(土) 協力隊	小机城址市民の森(要事前申込み) たけのご掘り 10:00~15:00
4月12日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹垣改修と密度管理 10:00~15:00
4月14日(火) 協力隊	こどもの国 竹林整備と密度管理 10:00~15:00
4月18日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹灯笼づくり 10:00~15:00
4月19日(日) 協力隊	小机城址市民の森(要事前申込み) たけのご掘り 10:00~12:00
4月25日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹灯笼づくり 10:00~15:00
4月28日(火) 協力隊	こどもの国 竹林整備と密度管理 10:00~15:00
4月29日(祝水) 協力隊	横浜国際プール 竹灯笼設置 10:00~15:00

5月2日(土) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 竹林間伐と密度管理 10:00~15:00 講義：竹の由来と生態 9:00~12:00 実習：穂先筍収穫と竹水作り 13:00~15:00
5月6日(振休水) 協力隊	横浜国際プール 竹灯笼設置 10:00~15:00
5月9日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹灯笼設置 10:00~15:00
5月12日(火) 協力隊	こどもの国 竹林整備と密度管理 10:00~15:00
5月15日(金) 協力隊	横浜国際プール まつり前日準備 10:00~15:00
5月16日(土) 協力隊	横浜国際プール(要事前申込み) 第19回竹灯笼まつり 10:00~21:00 (予備日：17日)
5月17日(日) 協力隊	横浜国際プール まつり材片付け 10:00~12:00 (午前中、予備日：18日)
5月23日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹灯笼集積 10:00~15:00
5月24日(日) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 竹林間伐と密度管理 10:00~15:00 講義：筍の育成と管理 9:00~12:00 実習：若竹伐採と竹水取水 13:00~15:00

5月26日(火) 協力隊	こどもの国 竹林整備と密度管理 10:00~15:00
5月28日(木) 協力隊	横浜国際プール 竹灯笼処理 10:00~15:00
5月30日(土) 協力隊	中井町 竹林整備 10:00~15:00

6月6日(土) 協力隊	中井町(要事前申込み) マダケの筍狩り 10:00~15:00
6月9日(火) 協力隊	こどもの国 竹林整備と密度管理 10:00~15:00
6月13日(土) 協力隊	中井町(要事前申込み) マダケの筍狩り 10:00~15:00
6月20日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹灯笼処理 10:00~15:00
6月21日(日) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 竹林の間伐 10:00~15:00 講義：竹林の管理と育成 9:00~12:00 実習：若竹伐採とお礼肥 13:00~15:00
6月23日(火) 協力隊	こどもの国 竹林整備と密度管理 10:00~15:00
6月27日(土) 協力隊	小机城址市民の森 竹林の間伐とお礼肥 10:00~15:00
6月28日(日) 協力隊	中井町 竹林整備 10:00~15:00

9月5日(土) 協力隊	小机城址市民の森 竹林の間伐 10:00~15:00
9月6日(日) 協力隊	中井町 竹林整備 10:00~15:00
9月12日(土) 協力隊	小机城址市民の森 竹林の間伐 10:00~15:00
9月20日(日) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 竹林の間伐 10:00~15:00 実習：竹林の調査 10:00~15:00 竹林間伐の方法
9月23日(祝水) 協力隊	横浜国際プール 竹林の整備と下草刈り 10:00~15:00
9月26日(土) 協力隊	小机城址市民の森 竹林の間伐 10:00~15:00
9月27日(日) 協力隊	小机城址市民の森 竹林の間伐 10:00~15:00

竹に関する情報がありましたら、どんなことでも結構です。下記宛にご連絡をお願いいたします。

E-MAIL:office141@takefan.jp URL:http://takefan.jp TEL&FAX 045-306-9993